

A. 日 時 2013年10月31日(木曜日) 18時00分～20時00分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本主査 他10名

D. 提出資料(提出委員名も記入して下さい)

No. 15-00: 第14回居住性能評価指針検討WG 議事録(案)

No. 15-01: ランダム水平振動に対する居住性能評価

No. 15-02: ランダム振動に対する不安感・不快感に関する環境振動評価

No. 15-03: 環境振動に関する評価資料群

No. 15-04: 近年の既往研究まとめ@風振動分野 その3

No. 15-05: 木造大スパン床の歩行振動の居住性からみた評価方法

No. 15-06: 居住性能評価指針検討WG 資料

No. 15-07: 床振動に関する時間の影響についてのまとめ

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料15-00「第14回居住性能評価指針検討WG 議事メモ」について報告

※ 前回委員会議事録内容の確認

→ 承認された

2. 議論

A) 環境振動シンポジウムについて松本主査より報告

※ シンポジウムの内容について

→ T委員の発表内容は、T委員の研究をメインで構成し、同系の研究を追加していくストーリー展開ではどうか

→ 追加する研究は、横山委員・井上委員等の主に振動の時間特性に対する影響に関する研究群

B) 指針改定小委員会の立ちあげについて松本主査より報告

※ 委員会構成

→ 改定小委員会と指針の具体案を作成するWGの両者を設立

C) 資料15-01「ランダム水平振動に対する居住性能評価」について報告

※ ランダム波を対象とした被験者暴露実験について

→ 卓越周波数と加速度最大値を変化させた被験者実験

→ 卓越周波数が複数ある場合の評価手法について、正弦波実験や既往指針と比較を行った

D) 資料 15-02 「ランダム振動に対する不安感・不快感に関する環境振動評価」について報告

※ ランダム波を対象とした被験者暴露実験について

→ 実測波形の離散間隔を変化させて作り出したランダム波を被験者に曝露

→ 卓越周波数 2.5Hz 近傍で評価が最も厳しくなる

E) 資料 15-04 「近年の既往研究まとめ@風振動分野」について報告

※ 風に起因する環境振動に関する既往研究について

→ 長周期水平振動の場合には、体感知覚のみならず視覚知覚等の影響も加味する必要がある

→ 次回の指針改定時に視覚や聴覚の影響を記載する必要があるのか…?

F) 資料 15-05 「木造大スパン床の歩行振動の居住性からみた評価方法」について報告

※ 木造大スパン床を対象とした官能検査について

→ 生じている床振動の大きさと人体評価の認知大きさ尺度・気になり具合尺度の関係について

→ 床振動の物理量の抽出方法（算定式・主に時間的影響の考慮）を検討する必要がある

G) 資料 15-06 「居住性能評価指針検討 WG 資料」について報告

※ RC 造・S 造建築物の床振動の評価について

→ 人体の振動評価に適する振動の物理量算定方法を探索する

→ 資料 15-05 と同様に、床振動の物理量の抽出方法（算定式・主に時間的影響の考慮）を検討する必要があるとの知見を得た

H) 資料 15-07 「床振動に関する時間の影響についてのまとめ」について報告

※ 各種加振方法による床振動の評価特性について

→ 入力波の衝撃回数頻度や床の減衰特性等により人体の振動の評価は変化する

→ 振動の適切な物理量評価方法を検討する必要がある

3. 次回以降の課題

※ ランダム振動の影響について

→ 石川委員の報告

※ 時間影響の検討

→ 鉛直床振動の研究をメインに検討

※ 評価対象

→ 評価対象の検討

次回の当委員会は、2014年1月7日（火曜日）18時00分より本会会議室で開催します。

資料を提出される方は、あらかじめ準備(15部)されるか、もしくは2日前までに本小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いいたします。